

サルにご注意ください

草津市内の各地で、**野生のサル** の目撃情報が複数寄せられています。

※目撃情報については、市ホームページ「サルにご注意ください」でご覧いただけます。

ニホンザルのオスは、4才から6才になると生まれ育った群れを離れて、他の群れに入るために旅をします。その途中に市街地に迷い込むことがありますが、騒いだり刺激したりしないで、放っておけば立ち去ります。サルを本来の自然へ帰すためにも、安全で快適なまちづくりのためにも、皆様のご協力をお願いいたします。

野生のサルであるため、遭遇した場合、下記の点に十分ご注意ください。

1 近寄らない

不用意に近づいたり追いかけたりすると、サルが興奮して襲われることがあります。特に幼児などは危険です。カメラ等で撮影する行為も危険です。もし近づいてきた場合は、あわてずゆっくり後ずさりして遠ざかりましょう。

2 目を合わせない

目を見ることで、威嚇(いかく)されたとサルが思い、襲ってくる場合があります。

3 大きな声を出さない

サルの防衛本能を刺激することになるので止めましょう。

4 絶対にエサを与えない。エサを見せない

人がエサを与えることを覚えると、サルがその場所に居ついたり、周囲の人家に侵入するなど、地域全体に被害を及ぼす原因になります。また、エサとなるものを屋外に放置しないようにしましょう。

自宅の果樹や家庭菜園に、ネット等をつけることもサルを近寄らせない手立てのひとつです。

5 戸締りを徹底する

二階の窓からも家に侵入することもあるので、十分注意しましょう。

連絡先 草津市 環境政策課 環境政策係 077-561-2341
(土日祝日・夜間) 草津市 守衛室 077-561-2499